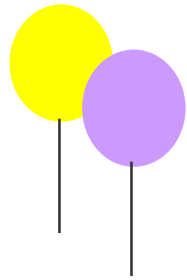
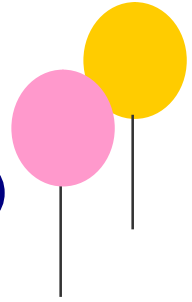


ふうわ会報



ふうわ。わ。わ。



—第16号—

秋の気配ですね！

あんなに暑かった夏も過ぎ、あちこちで秋の気配が感じられます。
今年の夏は、福岡での集いも大成功のうちに終わりました。
福岡のSさん、すばらしいつどいを、ありがとうございました。
いよいよ、スポーツの秋、食欲の秋、です。
ふうわでは、新しい企画「ふうわ応援セット」も始まりました。
皆様の応援、ご協力を、ぜひよろしくお願いいたします。

主な活動（5月～9月）

- ・全国盲ろう者協会評議委員会出席（5月29日）
- ・全国盲ろう者協会評議委員会出席（7月4日、7月15日）
- ・夏の集い下見（4月10、11日）
- ・夏の集い資料、総会資料印刷（7月7日）
- ・夏の集い開催（8月8日～10日）「福岡県 ウェルサンピア福岡」にて
同時に総会を開催しました（総会の報告は次項を参照してください）
- ・全国盲ろう者大会 ふうわ参加（8月22～24日）
- ・会報16号印刷発送（9月末）

◆◆「平成21年ふうわ夏の集い」のお知らせ

次回の夏の集い・開催地は、岐阜に決定しました。

◆◆「第14回中四国盲ろう者大会」のお知らせ

下記の日程で、開催されます。

日時：11月15日（土）～16日（日）

場所：島根県 ホテル一畑

島根県松江市千鳥町30

問合せは、しまね盲ろう者友の会へ



集いが開催されました！

今年の夏の集いが、8月8日から10日まで、福岡で開催されました。

沢山の家族が集まる中、地引網や花火大会など、子供たちも大喜びで、イベント盛りだくさんの楽しい三日間となりました。

会期中に行われた、総会、勉強会、アンケートなどを報告いたします。



平成 19 年度ふうわ 総会の報告

夏の集いにて、8月8日に平成19年度ふうわ総会を開催しました。

正会員77名のうち、出席者19名委任状24名、合計43名で、過半数となり、総会が成立しました。議事は全て承認されました。

ご協力ありがとうございました。

●平成20年度 活動について

- ・ 盲ろうの子を持つ家族が、メーリングリストでの情報・意見交換をとおして家族間の連帯を図る。
- ・ 会報の発行を9月、1月、5月の年3回とし、定期的に発行する。
- ・ 平成21年夏の集い開催地を岐阜に決定する。
- ・ 平成22年度夏の集いの開催は兵庫を予定地とする。
- ・ ホームページの管理
- ・ 助成金申請
- ・ 盲ろうの子のためのテキスト作り
- ・ リーフレットの改訂
- ・

● 会員会費について

- ・ 平成21年6月から、正会員年会費を2000円から3000円にする。
- ・

● mixi の採用について

- ・ 当面は採用せず、従来のMLをもっと活用する。

勉強会の報告

夏のつどいでは、毎年、N先生に勉強会の講師をしていただいています。今年の勉強会の内容をご報告します。

1. 障害者の条約についての経過報告

昨年の、夏の集い（那須にて）の勉強会で、条約についてのお話を伺いました。その経過について、今年の勉強会でも引き続き話をさせていただきました。

昨年、障害者権利に関する条約の中に「deafblind」という一つの言葉が、はいりました。これは、blind（盲）でもなく、deaf（ろう）でもなく「盲ろう」という盲ろう者・児、その関係者にとって、とつても大きな意味のあることです。

昨年の勉強会の段階では、原文（英語）のみで、和訳は決まっていませんでした。その和文テキスト（仮訳文）が、今年出されました。

英文では、blind, deaf or deafblindという単語が、
和訳文では、視覚障害若しくは聴覚障害又はこれらの重複障害のある者となっています。

今のところ、和訳では「盲ろう」という言葉になっていません。

この条約は、日本では、まだ批准されておらず、あくまで仮訳ではあります。

しかし、この違いは大きいことなので、決定されるまで、今後も「盲ろう」という言葉の大きな意味を訴えていく必要があります。

条約全文

和文テキスト(仮訳文)

第24条 教育

3.

- (c) **視覚障害若しくは聴覚障害又はこれらの重複障害のある者(特に児童)の教育が、その個人にとって最も適当な言語並びに意思疎通の形態及び手段で、かつ、学問的及び社会的な発達を最大にする環境において行われることを確保すること。**

英文（原本）

- (c) **Ensuring that the education of persons, and in particular children, who are blind, deaf or deafblind, is delivered in the most appropriate languages and modes and means of communication for the individual, and in environments which maximize academic and social development.**

※ホームページ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/treaty/shomei_32b.html

に条約の全文が載っています。

2. 「弱視ろう疑似体験」

身近にあるものを使って簡単にできる疑似体験の方法を習い、みんなで実践してみました。

・疑似体験の方法

ビニール袋を重ねて目にあて、ランドル環を見て0.01位の見え方に調節してアイマスクを作って掛ける。

耳は、自分の指でふさぎ、少し聞こえるくらいに押さえると、疑似弱視難聴状態になる。5人のグループで、健常者役と弱視難聴者役に分かれて、健常者同士で5分間会話をす。それぞれの役をを交代し、さらに5分間会話する。

その後、その感想を出しあう。

次のような感想が出ました。

- ・表情が見えないので、会話に入るタイミングがつかめない。
- ・誰が話をしているかくらいはわかるが、内容がわからない。
- ・誰かが話をしているというのはわかるが、誰なのかわかりにくい。名前を言ってから話し出したらよかった。
- ・ワーッとという声だけが聴き取れ、細かい内容がわからなかった。
- ・聞こうとすると前傾姿勢になっていく。
- ・聞こうとすると疲れてきて、だんだん聞かなくていいかなと感じてくる。
- ・テーマが聞きたいことなら「聞こう」という気になるが、興味がないことだとどうでもよくなる。
- ・「あなたに」と指名されたりすると、ちゃんと聞こうとする。
- ・基本は、1対1かなと感じた。
- ・前に来て話してもらおうと聞きやすかった。
- ・聞こうとすると、見ようとしなくなる。見る気がなくなる。
- ・大きな声で、ゆっくりしゃべってもらったら、聞きやすかった。
- ・周りのざわざわしている中で、聞き取るのは難しい。
- ・聞いて、理解して次に移るのに時間がかかり、行動が遅くなる。
- ・聞きやすい声と聞きにくい声があった。
- ・着ている洋服の色によって、動かしている手が見やすかったり、見にくかったりした。
- ・自分の子が自分の世界に入ってしまう理由が分かった

弱視ろうという状況にいるということは、こういうことなんだと全員が実感し、我が子の気持ちを改めて、考えさせられた時間でした。

夏の集い アンケート結果報告

1. 今回の集いの感想。料金、場所、内容について

- ・ 時間にゆとりがあり、子どもとのコミュニケーションが十分にとれてよかったです。
- ・ 子どもたち一人一人ちがいが、初対面で一日一緒に過ごすのは、やはり大変でしたが、このかわりが私にとってとても大きかったです。
- ・ 本当に来てよかった。各地で頑張っておられる他の方々の姿に気が引き締り、私もまた頑張ろうと思いました。
- ・ 子どもを中心に、兄弟、姉妹、家族がさまざまなかわりをしておられるのを直接目にし、一緒に過ごさせていただき、貴重な経験でした。
- ・ 料金もとても安くすばらしい企画でした。
- ・ 駐車場もあり、プールなど完備していて良かったです。企画内容も充分計画されていたのでボランティアとしても楽しめました。子どもたちが大喜びしている顔を見て、こちらも癒されました。
- ・ ふうわの会が、色々な場所で開催されるのはいいことです。今回福岡であったので、初めてでしたが「盲ろう」の御家族や、学校の職員を誘う事ができました。
- ・ 遠くから、来られた方は料金〔交通費〕が大変だったろうなと思いましたが、宿泊して三日間過ごすには安いと思えました。
- ・ 職員の方もとても親切で感じがよかったです。
- ・ 天気に影響されて大変でしたね。場所はとても良かったです。時間〔スケジュール〕が、良い意味でゆったりしていて、体調や心理状態に応じた参加が出来ている点が Good だと思います。
- ・ 参加者が健常者でもなかなか体験出来ない地引網は、特に良い企画だったと思います。
- ・ プログラムがゆっくり組まれているので、小さい子どもさんは参加しやすい。
- ・ お母さんと離れている時間が短めなので、初めてのお子さんも疲れしないのではないのでしょうか？朝もゆっくりできた。
- ・ 海水浴、花火、レクレーション、とても楽しかった。
- ・ 夕食が少なくて残念でした。
- ・ 海の家での昼食は、水着のまま食べれたらよかったですね。
- ・ 兄弟、姉妹の取りまとめの責任者が決めてあると、もっとスムーズに運んでいけるのではないかと思うところです。特に安全面で。
- ・ 暑い夏の暑い海、心配する面もありましたが、ゆとりのある企画安心しました。語り合う時間が多くとれて、充実した時間でした。
- ・ 初めての参加でしたが、全国の同じ障害を持つ方々に会えてよかったです。子どもも二日間体調も良く参加できた事を一番うれしく思います。
- ・ 二日間とも15時～17時にゆったり過ごせる余裕があつてよかったです。
- ・ 大広間を基点に、部屋もお風呂も動きが取りやすく使い勝手がよかったです。
- ・ 三日目フリートークの時間先輩ママの今迄のエピソード、ものすごく参考になり、またパワーを貰いました。
- ・ 子ども達も楽しめて、保護者は勉強になりました。

2. 会報の感想、要望をお願いします

- ・他の会員さんの近況を知らせて頂けて、楽しく読ませて頂いています。会員さんが増えていくのがうれしく【特に近い県】、実際に出会う機会につながったりしているので、有難いです。
- ・料金の事もあるのですが、写真など少しでもあればいいかな？と思います。
- ・会報は読みごたえがあります。年四回発行であればさらに良いと思います。

3. 今後の集いに希望する事

- ・通訳者が一緒に入浴しますが、一回分を袋等に入れてあると助かります。又、バスタオル等が入っていると体を拭く時に楽になるので、今後はお願いしたい。野外活動時、ハンドマイク、笛等があると情報伝達が楽ではないでしょうか？
- ・スタッフの皆さんお疲れさまでした。クラスの子も達や地域の方に返せるものがあれば…と思い、参加させて頂いています。N先生をはじめ、多くの先生方との出会いで、たくさん勉強できました。ありがとうございました。
- ・今回のような集いが理想的でした。すばらしい会だったと思います。
- ・今後も集いの存続、拡大、充実を願っています。
- ・いろいろな人と子ども達の話が出来て、やっぱり必要な集いだなと改めて思いました。
- ・毎年色々体験内容が変わっていくと、子ども達にもいい刺激になると思います。
- ・男性のボランティアの方が沢山おられたので、お風呂のサポートは本当に助かりました。【男の子の盲ろう児が多いので】
- ・N先生の勉強会とても参考になります。二時間弱では短すぎるので、もっと時間をとって頂けると有難いです。
- ・研修会など、ボランティアがもっと学習できる場【時間】があれば幸いです。
- ・毎回準備して下さる方々、ボランティアの方々本当に感謝です。出会う方々が初めての方でも、かかわろうとあたたかく接して下さるのでうれしいです。今後は、自分が少しずつ「参加させてもらう側」から「参加する側」へというか、出来る事をさせてもらえるように、なれるように頑張っていきたいと思います。
- ・学校関係の方に呼びかけるだけでなく、当事者団体や、他の支援団体に呼びかける必要があると思います。
- ・昔から参加されている方の、仲間意識がとても強いと感じました。今後ボランティアや賛同者を増やしたいのであれば、新しいものも受け入れる必要があるのでは？



【おまけのコラム：点字のおべんきょう】

(写真上) 全盲・難聴のんたんが、点字のお勉強のために使った教材の数々です。左から右へ学習が進むに従って、一年をかけて、教材はしだいに小さくなっていきました。

(写真左) 6つの穴があいた教材の数々。必ず、2個一組で使っていました。

ブロックを入れた一方の教材を触って理解し、同じものを他方の教材で再現するためです。

詳しくは、<http://homepage2.nifty.com/liming/index.html> をご覧ください。



思い出のメッセージ

この夏、初めてつどいに参加した方に、感想を書いていただきました。ようこそ、集いへ。ようこそ、ふうわへ。まだいらしたことのない方も、来年はぜひいらしてください。



☆T.Jさん (T.Yくんのお母さん) ☆

昨年の秋にふうわに入会してから、MLにも参加していなかったので、初めて会員の皆さんと接する事にドキドキしながら会場に向かいました。(遅れてしまって申し訳ありませんでした・・・)会場に着くと、Sさんがすぐに私とYに気がついてくれて、とても嬉しかったです。

Yはすごく母子分離不安が強い時期で、通園施設でもすごく苦労しているので、私から離れるのは絶対に無理だと思っていましたが、そんな心配も取り越し苦労に終わり、通訳介助の方に預けてもほとんど泣かずに過ごしてくれました。

Yも広い部屋で這い回り、オモチャで遊んで、すごく楽しそうな笑顔を見せてくれました。

そして2日目には初めての海水浴！ビニールプールでも泣いてしまうYが、波に打たれてのんびりしている姿を見て、本当に参加してよかったと思いました。

通訳介助に付いてくださった先生方にも色々とアドバイスいただき、早速うちでも実践していこうと思います。

それから、勉強会で弱視難聴の疑似体験をしたことは、Yの不自由な世界が理解できた貴重な体験でした。

今までYと同じ盲ろうの子と接したこともなく、悲観的になることも多かったのですが、今回集いに参加したことでたくさんの仲間がいることがわかり、何よりお母さんたちの明るい笑顔を見て、今まで自分がYのことで思い悩んでいたことは何だったんだ？と肩の力が抜けた気がします。

Y自身もよい刺激を受けたのか、集いの後の通園では苦手だったビニールプールでは爆笑し、給食もガッツリ食べ、私から離れても泣かずに過ごすという快挙を成し遂げました！

来年の岐阜にも是非参加したいと楽しみにしています。

みなさんありがとうございました。

☆K.Mさん（K・Kくんのお母さん）☆

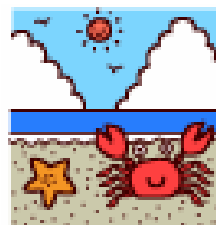
今回ふうわの夏の集いが福岡であると知ったのは現在通っているF県立K盲学校の担任の先生に教えてもらった事がきっかけです。

日帰りで少しの時間の参加でしたが、夜の砂浜での花火やプールなど、Kもとても楽しかったらしく、家に帰って来てからも興奮している程でした。うちのKはCHARGEで胃ろう、肢体不自由おまけに多動、情緒不安定な所もあり、朝起きて寝るまで一日中一緒に何かしてないとじっとしてない子なので、毎日慌ただしく過ごしています。

盲学校に通いはじめていろいろなサインを教えてもらい覚える事で、自分の意思を伝える事が少しずつできるようになってきました。表情も穏やかになり、笑顔も増えてきました。

今回、弱視難聴体験では子供の気持ちを改めて考える良い機会となりました。コミュニケーションがとても大事だということを教えて頂いて、盲ろうの子を持つ親として出来る事をいろいろ勉強する必要があると感じました。

この会に参加して全国の方に出会い、楽しい夏の思い出をつくる事ができました。ありがとうございました。



ボランティアで参加して下さった方々からも、感想をいただきました。大変お世話になり、本当にありがとうございました。

☆K.Mさん（ふうわ実行委員）☆

雨上がりの青空に大きな入道雲、少年自然の家・玄海の海は子どもたちの輝く笑顔であふれた。海水はあたたかく、初めて海に入ることができた子がたくさんいて、地引網も楽しかったと聞いて安心した。私は地元スタッフの一員で、裏方としての参加であり、ご家族や子どもさんたちと触れ合う余裕がなくて残念。

会場はどこに、ボランティアはと、悩んだけれど、皆さんに喜んでいただけて嬉しかった。玄海の家の人、ボランティアの皆さんに感謝。そして、県内にふうわの仲間が数名居ると判明した事は大きな収穫。

この有意義な集いが今後も継承発展されますよう祈念します。

☆N.Cさん（ふうわ実行委員）☆

今年度のふうわの夏の集いから早1か月。皆様それぞれの秋をお迎えのことと思います。私も今年の貴重な思い出を持ち、秋を迎えることができました。

全国の方々との出会いは、今後の仕事の視点を大きく見つめなおす機会を与えていただきました。特に、コミュニケーションの取り方の豊かさに学び、悩んでいた問題の解決につながっていきました。

来年度の集いを楽しみに、皆様が笑顔で別れてある姿を通して、この集いの大切さを確認しました。

私も、準備から本番までを通した歩みは、様々な方から多くの力をいただきました。有難うございました。

☆U.Cさん（ボランティア）☆

「ワアーこんにちは久しぶり」「大きくなったね」「一年ぶり・いや二年ぶり」あちらこちらから聞こえてきます。大広間に集まって来る保護者の誰もが笑顔で、再会を喜び合う姿が印象的な始まりです。

二泊三日の「ふうわ夏の集い in 福岡」に参加する機会をいただけたことに感謝致します。

私自身、三日間で三名の子ども達と共に過ごし、保護者の方から子育てのこと・子どもの成長の喜び・将来への思いを伺いながら、もっともっと理解を深め、支援の輪を広げていくことに大きな意味があるように感じました。

親子で夕食をされている時「うちの子も、あんなふうにしたらいいね。」「あの方法が良いね。」等々と、生活の中から生まれた工夫が、次に育つ子どもたちの道しるべとなっているのだと思いました。

子育ての苦労や工夫したことを「集い」の機会に伝え合うことが、力強い指導本となっていくこと、保護者の方々には共感できる存在として絆になっていくような気がしました。多くのことを学ばせていただきました。

それぞれの子どもたちの世界に「in福岡」は、玄界灘の波の心地よさ、潮のにおい、日差し、砂の感触、魚のにおい、魚に触れた感触、味、プールの人混み、花火のにおい、初めて出会ったボランティアとのふれあい、全てが体いっぱいにおさめられた三日間だったと思います。

みなさん「福岡」は美味しい物や見所いっぱいの町です。どうぞまた福岡へ。

実行委員長のS君、「みんなが楽しんでくれていたか」が気になって、大広間の出口に座り、様子をうかがい見送っていました。「皆が無事だったこと、楽しかったこと」を感じて、ほっと一安心したことでしょう。お疲れさまでした。

実行委員の皆様、本当にお疲れさまでした。

☆M.Nさん（ボランティア）☆

「私でも何か出来ますか？」ではじまったボランティアでした。

三日間通訳介助についてみて、はじめは、そのお子さんの事を知らないので不安だらけでしたが二人担当制だったので少しほっとしました。また、フリーの方もいらしたので、何か手伝って欲しい時に頼めるというのも良かったです。

その場では、それほど疲れを感じなかったのに、緊張してか帰宅後なんだか、身体中がだるく、両腕や足が筋肉痛になっていたのにはびっくり。

きっと御両親方も毎日こんな感じなのだろうと思いながらの三日間。

ありがとうございました。また、何かあれば、「私にも何か出来ますか？」と参加できたらなあと思っています。

ふうわ夏の集いin福岡、今年も無事終わることができました。
特に今年は福岡での開催ということで、福岡の皆様には大変お世話になりました。
1年前からの準備期間中や当日の大変さは、想像を絶していたかもしれません。しかしながら、集い終了後、そこで生活していく盲ろう児や家族には大きな支えができました。参加した父母は明日へのパワーの源をもらい、兄弟たちは全国に友達ができました。

本当にありがとうございました。

来年は岐阜での開催が決まりました。

また、資金面では、「自分達でできることで」と知恵をだし、愛麵様のご協力により、「ふうわ応援セット」を販売する事となりました。

こちらに合わせてご協力いただけたらと思っております。

引き続き、皆様のご支援ご協力よろしく申し上げます。

ふうわ会長



****ご寄付のお礼****

2008年8月までに17名（匿名希望1名）の方からご寄付を頂きました。
合計87,000円を、ここにご報告させていただきますと共に、心よりお礼申し上げます。

夏の集いへのご寄付

夏の集いのご寄付を6名の皆様から頂きました。
心よりお礼申しあげます。ありがとうございました。

☆2008年度9月現在会員数☆

正会員 78家族 賛助会員 204名 団体賛助会員 5団体

応援してくださっている賛助会員の皆さん、ありがとうございます。
これからも末長く、よろしくお願いいたします。

2008年度会員手続きのお願い

2008年度（6月～翌年5月）の会員継続がまだお済みでない方は、お手続き（会費納入）をよろしくお願いいたします。

なお、会報を点字版、拡大版で希望される方、または会報送付を希望されない方は、その旨振替用紙にご記入ください。

賛助会員は随時募集しています。お知り合いの方をお誘いいただきたくお願い申し上げます。

正会員(盲ろうの子とその家族)年会費	2,000円
個人賛助会員年会費	1口1,000円(口数は問いません)
団体賛助会員年会費	1口5,000円(口数は問いません)

郵便振替口座	00110-9- 629057
加入者名	ふうわ

お願い

ご住所が変わられる場合は、お手数ですが、事務局または下記メールアドレスまで、ご連絡をお願い致します。

◆おしゃべりコーナーに原稿をお寄せください！◆

このコーナーでは、ザックバランに子どもの自慢、学校のこと、仕事のこと、お得情報(レジャー、お勧めスポット、暮らしなど何でも)などの原稿をお寄せいただきたいと思います。正会員、賛助会員どなたでも。原稿は、下記連絡先へお願い致します。

【編集後記】

深まる秋と競争しているような作業でしたが、なんとか完成し、ほっとしています。

「ふうわ応援セット」は <http://homepage2.nifty.com/liming/Fuwa/Flyerab080829.pdf> でもご紹介しています。ぜひ、周りの方にも宣伝をお願いいたします。

問合せ・連絡先

メールアドレス fuwadb@yahoo.co.jp

ホームページ <http://fuwa.s151.xrea.com/index.html>